

令和4年度 第8回 政策決定会議 会議録

-
- ◆開催日時：令和5年2月17日（金） 15：30～16：10
 - ◆開催場所：市長公室
 - ◆出席委員：市長、堤副市長、戎井副市長、大下教育長
 - ◆説明者：岸建設部長、深井水とみどり課長、渡邊整備担当参事、寺谷管理担当長
-

◆審議事項

岸和田市公園等整備・管理アクションプラン骨子について・・・・・・・・水とみどり課⇒承認

◆審議概要

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて、本件原案のとおり承認された旨、報告。

◎報告後、質疑応答

〈堤副市長〉「将来ビジョン・岸和田」を具体化する分野別計画なので、まだ骨子の段階だがこれからしっかり作り込んでほしい。公園や緑地は、生活する上で重要な要素である。現在大阪市内でもうめきたエリア等で大規模公園の整備や緑化を進めている。公園はとりわけ市民生活に密着したもので、都市公園は先月の1月15日でちょうど150周年を迎えたため、国も力を入れている。また、大阪府でも、昨年度「大阪パークビジョン」を策定するなど公園・緑地の魅力向上に力を入れている。

基本方針の骨子を今後具体化していく中で、5点ほど留意してもらいたいことがある。

1点目は、公民連携による管理について。公園の利用者を増やしていくという意味でも、財政負担を軽減するという意味でも、持続可能な取組ができるよう、民間の力を活用し、経費を削減しながら維持していくことが非常に重要。民間の最先端のノウハウを吸収し行ってもらいたい。

2点目は、安全・安心について。施設・設備の老朽化への対応は、利用者の生命・身体にも影響する大きな課題で、緊急性も高い。行政として責任をもって進めなければならない。そのために、DXの活用が極めて重要。スマートシティに対応した「スマートパーク」化をめざしてもらいたい。犯罪抑制のための防犯カメラの充実、AIを活用した遊具の使い方のサポート、照明の省エネ化等様々な面でスマート化を図りたい。

3点目は、高齢化への対応について。大阪府の高齢化率26.7%に対し、岸和田市の高齢化率は28.1%と非常に高い。車椅子が出入りしやすいようバリアフリー化していくこと。ステークホルダーとともに高齢者が利用しやすい公園づくりをぜひとも願いたい。

4点目は、カーボンニュートラルとグリーンインフラについて。カーボンニュートラルは、市長も力を入れているところなので、公園においても具体化してほしい。また、SDGsのこともあるので、グリーンインフラのあり方にも配慮してほしい。例えば樹木の使い方。東大阪市長瀬の府公社住宅の建替で実際に行ったが、これまでは公園の周

囲に樹木を配置していることが多いが、公園の中心に樹木を置くことで、開放的な空間ができるため、外からも見え、交流もしやすくなる。その公園は東大阪市の公園として活用している。発想の転換により、安全で安心な子どもや高齢者の居場所づくり、交流の場づくりにもつながる。

5点目は、防災公園としての活用について。直接の所管は危機管理課になるが、マンホールトイレやかまどベンチの設置等、防災に使えるような設備を整えられるよう、具体化に向け、危機管理課と連携し進めてほしい。

〈戎井副市長〉堤副市長の1点目の指摘に関連するが、町会や公園を商業利用してくれる民間企業と連携しなければいけない。人的な資源確保を町会に依頼し、必要な資材費を予算化していくなど検討されたい。また、それを具体化していく際には、町会との協議や勉強会の場を設け、生垣が鬱蒼としている公園も多い中、毎年手入れするのが難しければ撤去する選択肢もあること、公園の整備に係るモデルケースや他市の事例等を提供するなど体制づくりをしてほしい。

〈教 育 長〉アクションプランは、どの都市でも同じようになりがちだが、岸和田市らしさを持ったものができれば良いと思う。その内容としては、DX や SDGs の観点を入れること。また、現状既に市民1人あたりの都市公園の整備面積が目標の92.9%まで進捗している一方、未整備面積が62%ということで、整備計画が過大であるという印象を持った。量よりも質を高めていく必要がある。岸和田市の状況を見ると、大阪市内の都心部と異なり、郊外には緑が多く、かなり優位性があるため、場所ごとにメリハリをつければ良いのではないか。質を追求するうえで Park-PFI は非常に重要であり、本当に市民に使ってもらえる公園、親しんでもらえる公園ということに重きを置いてアクションプランを策定してほしい。そのためには総量の削減・見直しも併せて進めていく必要がある。

〈市 長〉祭のつながりが防災時に活かされるように、普段から遊んでいる公園やそこに設置されているかまどベンチだからこそ、防災時に活用できることがある。これまでの公園にはなかった公民連携、SDGs、カーボンニュートラルなど様々な要素が新たに出てきている。市民の方に何かが始まったという機運を感じてもらえるよう、堤副市長の「スマート公園」という言葉をこれから使っていったらどうか。公園そのものの持続可能性も含め、SDGs への配慮、デジタル技術や公民連携の結節点、災害時の利用など「スマート公園」とはどういうものを定義づけていくことで、市民も一緒になって進めていけるのではないか。壮大なことかもしれないが、それだけ伸びしろがある。企業や奉仕団体といった民間の資金やノウハウを活用し、公園をより良くしていくことで、市民のQOLも上がる。何かが変わるのだと感じてもらえるよう、プランの名前が変えられるのであれば、「スマート公園」を入れるなど変えてもらいたい。

〈総合政策部長〉本案件について、「スマート公園・岸和田～アクションプラン～」とし、承認してよろしいか。

【異議なし】

⇒プランの名称を「スマート公園・岸和田～アクションプラン～」とし、本件を承認する。

令和5年1月 23 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 建設部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	岸和田市公園等整備・管理アクションプラン骨子について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	現在、岸和田市が管理する公園緑地は、大小合わせて 310 ヶ所あり、市民の身近なオープンスペースとして、様々なリクリエーション活動や交流、健康増進などの賑わいの創出をはじめとして、ヒートアイランド現象の緩和や都市景観の向上、災害時における一時避難など市民生活における重要な都市インフラである。 今後の社会情勢の変化を見据えつつ、財政負担の軽減を踏まえた公園緑地の整備や管理水準の向上を図り、持続可能な公園緑地マネジメントを実現するため、岸和田市公園等整備・管理アクションプラン骨子を策定するものである。
説明者	建設部 岸部長
	水とみどり課 深井課長、渡邊整備担当参事、寺谷管理担当長
付議事項の概要	別紙のとおり

付議会議	令和4年度 第8回会議
付議事項	岸和田市公園等整備・管理アクションプラン骨子について

★取組の目的

対象	市民
どのような状態を目指す	公園緑地のストックマネジメントの実施により、効率的な管理水準の向上を図り市民が安心して利用できる公園緑地を目指す。

★総合計画上の位置付け

108030102	基本目標	I－7 豊かな自然を未来につなぐ
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(2)心安らぐ場所が身近にある
	目指す成果	①公園を快適に利用している
	行政の役割	ア 利用者の視点に立ち、市民に親しまれる親水空間や公園づくりを推進する

★現状と課題

令和4年4月現在、市内には大小合わせて310ヶ所の公園緑地があり、多くの市民が利用している状況である。しかし、開設後30年を経過している公園緑地が大半を占め、公園内に設置しているブランコ等遊具の老朽化が顕著となっており、公園緑地の維持管理にかかるストックマネジメントの実施が課題となっている。一方、国では、都市公園の柔軟な管理運営のあり方について、新たな価値創出や社会課題解決に向けたまちづくりの場とすることなど様々な戦略が提言されているところ。

今後、社会情勢を見据え、限られた財源と人員のなか公園緑地の効果効用を発揮し、市民が安心して利活用ができるよう「岸和田市公園等整備・管理アクションプラン」の策定を目指し、その骨子となる基本方針等具体的な取組み事項を定めるものである。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
岸和田市緑地保全等審議会の運営			118	280	343	332	249		
公園遊具の法定点検業務委託		921	869	845	7,018	2,000	2,000	2,000	2,000
公園バリアフリー改修工事						14,399	20,000	20,000	20,000
公園ストック再編事業						20,000	10,000	10,000	15,000
P-PFI事業推進事業						3,000	3,000		
岸和田市みどりの基本計画中間見直し策定業務						3,000	3,000		
都市計画公園見直し検討業務							1,500		
財源内訳	国費					18,600	16,500	15,000	17,500
	府費								
	起債					18,799	15,000	15,000	17,500
	一般財源		118	280	343	3,332	6,249		
	その他	921	869	845	7,018	2,000	2,000	2,000	2,000
事業費		計			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		158,841			7,361	42,731	39,749	32,000	37,000

67,600
0
66,299
9,924
15,018

★当該事項に関連する人員増の必要性※

人員増の必要性				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
有		無			1			

★取組の効果を表す指標

指標名		単位	目標値						
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
①	心安らぐ公園や親水空間などが身近にあると感じている市民の割合	%	39.1	40.6	38.5				
②									

※事業費及び人員を確約するものではない。